

安宅住吉神社

安宅住吉神社は、障害を乗り越える「難関突破」の神を祀る、日本で唯一の神社だ。仕事や学問、人生での問題に打ち勝ちたいと願う訪問者たちがここへやってくる。

この神社は、782 年に初めて建立された。やがて、僧兵の弁慶（1155–1189）と主人の源義経（1159–1189）の物語を通して、難関突破と結びつけられた。不朽の歌舞伎の演目「勧進帳」の物語によれば、この二人は関所の近くで番人に通行を止められたが、賢い策略でなんとか通り抜けることができたという。この神社には、この物語の場面を描写した、多くの木版画や錦絵がある。